



● 与謝野の食べる桜 桜葉収穫体験  
桜を通して触れる与謝野の食文化



桜葉をていねいに収穫する参加者

5/23 与謝野町観光協会が主催する「与謝野の食べる桜 桜葉収穫体験」が開催され、桜葉摘みや桜もちづくりを通して、与謝野町の食文化に触れました。

参加者の皆さんは、畑でていねいに桜葉を摘み取った後、加工場での作業体験や、地元産の桜葉を使ったさくらもちづくりに挑戦。昼食には「桜うどん」も振る舞われ、与謝野町ならではの“食べる桜”を味わいました。

● 第41回大江山一斉登山  
大江山の自然を楽しむ一日



加悦双峰公園から千丈ヶ嶽に向かって登山する参加者

5/24 「第41回大江山一斉登山」開催され、福知山市、宮津市、与謝野町の登山口から約200人が山頂の千丈ヶ嶽をめざしました。

与謝野町の加悦双峰公園ルートには、家族連れや友人同士など約100人が集合。皆さんは新緑に包まれた登山道を歩きながら、さわやかな汗を流していました。山頂では手作りのお弁当を広げたり、眼下に広がる景色を写真に収めたりするなど、思い思いに登山を満喫する姿が見られました。

● 第75回阿蘇海一周マラソン大会  
仲間たちの思いをたすきに込めて



第3中継所でたすきを受け取り走り出す橋立中学校の選手(左)

5/9 天橋立(文珠)をスタート・ゴールとする「第75回阿蘇海一周マラソン大会(主催:与謝地方中学校体育連盟)」が開催され、選手たちは仲間たちや家族の声援を背に、懸命にたすきをつなぎました。

本大会は6区間12.8kmで競われ、宮津市、伊根町、与謝野町内の中学校6校からオープン参加を含む12チームが出場。各中継所では、仲間の到着を待つ選手たちが大きな声で声援を送り、たすきを受け取ると勢いよく次の区間へ駆け出していきました。沿道からは仲間や保護者らの温かな応援が送られ、選手たちは苦しい表情を見せながらも、最後まで力を振り絞って走り抜きました。最終結果は、昨年に続いて見事ワンツーフイニッシュを決めた橋立中学校が、「総合の部」で5連覇を達成しました。

なお、町内の中学校の「総合の部」の順位は、以下のとおりです。

【総合の部】

- 👑 優勝 橋立中学校 (5連覇)
- 2位 加悦中学校 3位 江陽中学校



第1中継所でたすきを受け取り走り出す加悦中学校の選手



第3中継所でたすき渡しをする江陽中学校の選手

● 初夏の加悦鉄道まつり  
ミニ列車に乗って出発進行



駅舎の周囲を周回するミニ列車に乗る親子

5/5 加悦鉄道資料館(旧加悦鉄道加悦駅舎)において、「初夏の加悦鉄道まつり」が開催され、多くの親子連れでにぎわいました。

5月3日から6日までの4日間、鉄道模型走行会や体験型イベントなど、多彩な催しが日替わりで行われました。5日には、子どもたちに大人気の同駅舎を周回するミニ列車の乗車体験を実施。晴天の下、親子で仲良く列車に乗り込み、笑顔で楽しむ姿が見られました。

● 春の例祭(加悦谷祭・岩滝祭・三河内曳山祭)

受け継がれる郷土芸能、各地で歓声



大虫神社の神楽(加悦谷祭)



男山八幡神社を出発する神輿(岩滝祭)



豪華絢爛な山屋台が並び(三河内引曳山祭)

4月25日から5月4日にかけて「春の例祭」が執り行われ、町内には太鼓や笛の音、活気あふれる声が響き渡りました。

4月25日・26日に行われた加悦谷祭では、後野地区の「愛宕山子供歌舞伎(表紙写真)」が2年ぶりに上演されました。役者を務める小学2年生から6年生までの6人の子どもたちは、3月中旬から稽古を重ねてきました。当日は、朝早くから化粧や着付けを施され、子どもたちは役者へと変身。上演された演目は、9年ぶりとなる「義経千本桜」です。

上演を終えると、大きな拍手がわき起こり、おひねりが飛び交いました。

5月1日は岩滝祭。あいにくの雨天となりましたが、子どもたちの力強い太鼓の音や元気な神楽舞、太刀振りなどが各所で見られました。

5月3日・4日は、春の例祭を締めくくる三河内曳山祭が厳かに行われました。4日の「曳山行事」では天候が危ぶまれましたが、丹後ちりめんの産地を象徴する山屋台が地域内を巡り、見物客を魅了していました。

Event Information



短冊に願いを込める来場者(昨年の様子)

7/4 (土) PM 5:00  
PM 9:00

ゆかたでぶらり☆  
ちりめん街道

ちりめん街道の夏の恒例イベントとして親しまれている「ゆかたでぶらり☆ちりめん街道」。キッチンカーなどで飲食を楽しめるほか、街道沿いに設置された行燈に明かりがともると、幻想的な雰囲気にも包まれた、いつもとは違うちりめん街道を散策できます。雨天中止。